

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年5月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会

**2024年5月度ギャラクシー賞月間賞****日本怪奇ルポルタージュ**

4月4日～5月9日放送 25:00～25:30 テレビ東京

怪しげなタイトルとは裏腹に、教育虐待やヤングケアラー、京アニ事件の加害者を治療した医師など、重くシリアスなテーマを丁寧に扱った。特に「ルポ散歩」の回では実体験を明かす芸人の語り口が淡々としているからこそ、真に迫ってきた。ドット絵を使ったビジュアル面も新しい見せ方への工夫があり、野心的だった。

テレメンタリー2024「行き場のない障害者～入所施設 定員削減の陰で～」

5月11日放送 4:50～5:20 朝日放送テレビ

「老障介護」という厳しい状況が更に深刻化した、障害者施設へのやむなくの入所対応。しかし「地域共生の促進」の美名からの強引無体な施設定員の削減で、福祉面での露骨な経済効率化を図り、障害者たちを困難へと追い込む行政の暴挙。この国の障害者施策が「無策」から積極的「棄民」へシフトしている残酷に愕然とする。

夜ドラ「VRおじさんの初恋」

4月1日～5月23日放送 22:45～23:00 日本放送協会

登場人物すべてが愛おしかった。特に主人公の2人の「おじさん」が、途中から可憐な「少女」にしか見えなくなるのが奇妙で面白い視聴体験だった。VRの世界の描き方も秀逸。仮想現実よりもやっぱり現実を、となりがちなところ、仮想現実を現実の世界と対等に扱う作劇も良かった。

土曜ドラマ「パーセント」

5月11日～6月1日放送 22:00～22:50 日本放送協会

障害者起用のドラマ制作における葛藤や、そこに横たわるさまざまな困難を、あえてそのままドラマのなかにメタ的に仕組み込んでしまうことで、障害者への社会的対応の矛盾や問題をより際立たせようとする意図は効いている。やや過剰なデフォルメではあるが、自分たちメディアの抱える欺瞞にも眼を向けていることを評価したい。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年8月号に掲載します